

賞詞

山 添 中 隊
配屬MG石橋小隊

右、自五月十二日洛寧攻略迄、戰鬥及追撃ニ於テ終始重要任務ヲ分
擔シ果敢機敏克ク其ノ任務ヲ完遂ス

特ニ五月十五日小石坂一韋左間ノ戰鬥及追撃ニ於テ豪雨泥濘ヲ冒シ且
連日連夜ノ機動ト糧秣既ニ缺乏セル困難ナル狀況トヲ克服シテ猛追ヲ断
行シ殊ニ韋左東側地区ニ於テハ後方ヨリ遲レテ退却シ來ル第四七
軍第一〇四師第三二二團(團長李克敦)ノ約七八百ヲ至近距離
ニ誘致シテ急襲シ之レニ徹底的打撃ヲ與ヘ捕虜並ニ輕機小銃、回彈
藥多數ヲ捕獲シテ大隊ノ戰果ヲ大ナラシム

更ニ十六日午後温村東方及西南方地区ニ於テ天嶮地障ヲ利用シ有
カナル一部ヲ以テ收容陣地ヲ占領セシメ其掩護下ヲ脱逸ヲ企圖スル
暫編第四軍第四師及第九軍六軍之部約千七百ノ敵ニ對スル攻撃ニ於テ
尖兵中隊トシテ機敏克ク戰機ヲ看破シテ重機関銃ノ協力下ニ之ヲ急襲
シ敵ヲシテ抵抗ノ餘裕ヲ與ヘシメズ自動小銃十餘挺其ノ他小銃同彈藥
並ニ捕虜多數ヲ捕獲シテ益々大隊ノ戰果ヲ増大ス

又五月十七日拂曉ヨリスル道頭附近ニ於ケル第九十六軍第十四師第四十
團長ノ指揮スル追撃砲ニヲ有スル約一千並第三十八軍第三十五師ノ約
一千合計約二千ノ敵ノ攻撃ニ於テ尖兵中隊トシテ迅速ニ先ツ道頭東側
ヲ占領セル約一連ノ前進陣地ヲ奪取シテ大隊ノ展開ヲ容易ナラシメ爾後
中央第一線トシテ敵ノ側防火力及追撃砲火ヲ冒シテコバレ高地ノ正面
及左側背ヨリ力攻シ力戰コバレヨリ一ニコロニ亘ル約三時間半ノ後重
火器ノ密接ナル協カト自ラ擲彈筒ヲ以テ行フ突撃動機ノ作爲ト

ニ依リ「コバレ」陣地ニ突入之レヲ奪取シ續テ追撃ヲ行ヒ敵ノ退路ニ殺到
シ大隊戰勝ノ動機ヲ作爲シ益々大隊ノ戰果ヲ甚大ナラシメタリ
右ハ中隊長ヲ核心トスル團結ノ下中隊長ノ果敢適切ナル指揮ト將校以下
ノ旺盛ナル攻撃精神並突撃力トニ因ル結果ニシテ其ノ功績武功拔群ナリ
依テ賞詞ヲ與フ

昭和十九年五月二十日

部 隊 長 賀 谷 中 佐

賞詞

八木中隊

右ハ今次作戰開始以來各地ノ戦闘ニ参加シ大兵中隊第一線中隊トシテ
屢々重要任務ヲ分擔完遂シ其ノ功績尠カラズ
殊ニ榮澤縣城ノ攻撃及賀谷支隊トシテノ禹縣城攻撃ニ於テハ第一線部
隊トシテ重要正面ヲ擔任シ果敢克ク優勢ナル敵ニ突入シテ大隊ノ戦闘
ヲ有利ナラシメ又方山附近ノ戦闘及爾後ノ追撃ニ於テハ大兵中隊トシテ
ノ機眼克ク戦機ニ投シ敵ノ重要據點方山ニ楔入シテ敵ニ徹底的打撃ヲ
與ヘ以テ大隊戦勝ノ端ヲ開キ且ツ小銃輕機同彈藥及捕虜等多數ヲ獲
得シテ益々大隊ノ戦果ヲ擴大シ續テ姚溝附近ノ掃蕩ニ於テハ第八十五
軍被服庫ヲ覆滅シテ冬軍衣袴各二千着軍帽卷脚絆各約一千着
ヲ獲得シテ大ナル戦果ヲ收メタリ

殊ニ五月十二日部隊カ虎兵團配屬トナリ洛寧攻略ヲ開始スルヤ連日連夜ノ
機動ニ因ル疲勞ト豪雨泥濘トヲ冒シ且ツ糧秣缺乏セル困難ナル状況ヲ克服
シテ猛追ヲ断行シ五月十五日拂曉大隊ガ敵ノ第三十八軍第三十五師第一〇三
團及第四十七軍第一〇四師三二二團(團長李克敦)第九十六軍一部第十四
軍ノ砲兵團第一營第十四軍直轄工兵一ヶ連ノ約一千七百及第一戰区獨立游
撃隊第四營約四〇〇合計二千百餘ニ對シ攻撃ヲ開始スルヤ直ニ展開
右第一線トナリ次テ大兵中隊タル川崎隊ガ先遣隊トシテ猛追ヲ開始ス
ルヤ新ニ大兵中隊トシテ追撃ヲ續行シ敗敵ヲ本道北側ニ急追シテ敵ニ
鐵槌的打撃ヲ與ヘ遂ニ西宮寺附近ニ於テ敵ノ第一戰区獨立游撃隊第
四營ヲ完全ニ包圍シテ其ノ約三百名ヲ捕虜トナシ小銃約三百挺彈藥約
十萬發ノ外多大ノ戦果ヲ收メ大隊ノ戦闘ヲ有利ナラシメ且ツ大隊ノ戦
果ヲ甚大ナラシメタリ

右ハ中隊長ヲ核心トスル鞏固ナル團結ノ下中隊長ノ機敏適切ナル指
揮ト將校以下ノ旺盛ナル攻撃精神並果敢ナル突撃力ノ結果ニシテ
其ノ功績武功拔群ナリ
依テ賞詞ヲ與フ

昭和十九年五月二十日

部隊長 賀谷中佐

賞

詞

内山歩兵砲中隊

石八自五月十四日洛寧攻略迄、戦闘及追撃間豪雨泥濘ヲ冒シ大起伏
大地隙ヲ横断スル嶮路ヲ突破シ且ツ糧秣既ニ缺乏セル困難ナル状況ヲ
克服シ克ク第一線歩兵ノ猛追ニ續行シテ隨時其ノ戦闘ニ協カス
殊ニ五月十六日石陵西方地区ニ於テ堅固ニ收容陣地ヲ占領セル團長ノ
指揮スル第四軍第八十五師第二十五團及第十三軍第四十七師並ニ第
十五軍ノ一部約二千五百ノ敵ノ攻撃ニ於テハ敵火ヲ冒シ神速機敏ニ展開
シテ既設陣地ニ據ル敵ニ有効ナル射撃ヲ加ヘテ第一線ノ前進ヲ容易ナラシ
メ更ニ敵ノ第一線近ク陣地ヲ進メテ戦闘實ニ〇八五ヨリ一〇三〇ニ亘ル二
時間五分ノ後第一線ノ突撃ヲ支援シ遂ニ敵ヲシテ潰走セシメ以テ大隊
戦勝ノ動機ヲ作爲ス又五月十七日拂曉ヨリスル道頭附近ニ於ケル第九十
六軍第十四師第四十團長ノ指揮スル迫撃砲三ヲ有スル約一千並第三十八
軍第三十五師ノ約一千合計約二千ノ敵ニ對スル攻撃ニ於テハ機眼ヨク敵
情ヲ洞察シテ先ツ大隊砲ヲシテ續テ聯隊砲及迫撃砲ヲシテ神速機敏
ニ道頭南側及西側附近ニ陣地ヲ占領セシメ重機関銃ト共ニ第一線ノ攻
撃ニ協力シ特ニ敵ノ抵抗必死ニシテ戦闘〇八三ヨリ一〇〇迄約三時間半
ノ長キニ亘ルヤ部隊長ノ命ニ依リ敵ノ側防火ヲ及最モ頑強ナル「ロバ」
「ハケ」「ワニ」ノ據点ニ對スル陣地ノ選定射撃諸元ノ決定火力ノ配置目
標ノ分配等ヲ適切ナラシメ重機関銃ト共ニ一〇二〇急襲的ニ統合火力ヲ發
揮シ特ニ「ロバ」陣地及其ノ前方森林ニ遮蔽セル自働火器ヲ有スル敵ニ有効
彈數發ヲ命中セシメテ全敵ヲ破摧シ以テ第一線突入ノ動機ヲ作爲シ大
隊戦勝ノ端ヲ開ケリ

右ハ中隊長ヲ核心トスル鞏固ナル團結ノ下中小隊長ノ適切ナル射撃指
揮ト將校以下ノ旺盛ナル攻撃精神並優秀ナル射撃技能ノ結果ニシテ
其ノ功績武功拔群ナリ

依テ賞詞ヲ與フ

昭和十九年五月二十日

部隊長 賀谷 中佐

昭和十九年六月

一、大隊ハ程家嶺附近ニ於テ有川旅團ノ轉進掩護ト共ニ該地附近ノ掃蕩ヲ實施中ノ處二十八日龍門街ニ兵力ヲ集結スベク五月二十八日程家嶺出發洛寧一宜陽道ヲ前進宜陽附近ヨリ洛河南岸ノ掃蕩ヲ實施スルト共ニ六月一日刑家化ニ進出該地ニ宿營ス

六月一日 一、大隊ハ刑家化附近ノ掃蕩ヲ實施スルト共ニ兵器被服整備馬匹ノ榮養快復等ヲ計リ爾後ノ行動ヲ準備ス

六月七日 葉縣附近ニ轉進ヲ命ゼラレ夜間機動ニ依リ臨汝鎮一郊縣一襄城一葉縣道ヲ前進シ六月十三日葉縣ニ到着同地ノ警備ニ任ズ

六月十四日 一、第三中隊ヲ張官營ニ、第二中隊ヲ瓦店營ニ派遣シ同地附近ノ警備ニ任セシム主力ハ依然葉縣ニ位置シ警備ニ任ズ

昭和十九年七月

六月二十日 一、部隊長ハ各隊小隊長以上ヲ集合セシメ現地ニ於ケル陣中勤務教育ヲ實施ス

六月二十日 一、部隊長ハ長峯隊ヲ巡視ス
保管馬ノ鼻疽検査(採血)ヲ實施ス

六月二十日 一、部隊長ハ葉縣各隊ノ内務巡視ヲ行フ

六月二十四日 一、石門、新郷ニ残置セシ書類受領ノ爲成田曹長以下八名ヲ出張セシム

六月二十四日 一、部隊長ハ中國側治安委員會結成式ニ旅團長代理トシテ出席ス

六月二十七日 一、部隊長ハ第二中隊ノ内務巡視ヲ實施ス

六月二十八日 一、大隊ハ主力ヲ以テ瓦店營附近ノ敵ヲ攻撃多大ノ戰果ヲ擧テグ

昭和十九年七月

七月一日 一、大隊ハ依然葉縣周辺ノ警備ニ任ズ

七月四日 一、熊兵團轉屬要員米沢上等兵以下七八名

七月六日 一、部隊長ハ交代部隊神戸部隊長ト同行警備地区引繼ニ関スル打合せ後城内ヲ巡視ス
一、部隊長ハ各隊長ヲ集メ移駐ニ関シ協議ス
一、官脇大尉ハ歩兵第六十三旅團高級副官トシテ赴任ス

七月七日 一、大隊ハ葉縣ノ警備ヲ神戸部隊ニ移壞轉進ノ準備ヲナス

七月八日 一、大隊ハ二梯團ニ分レ駄馬部隊ハ内山大尉ノ指揮ヲ以テ十七時出發主力ハ十九時出發ス

七月九日 一、大隊ハ葉縣ノ警備ヲ神戸部隊ニ移壞轉進ノ準備ヲナス

七月十七日 一、大隊ハ葉縣ノ警備ヲ神戸部隊ニ移壞轉進ノ準備ヲナス

七月十七日 一、大隊ハ葉縣ノ警備ヲ神戸部隊ニ移壞轉進ノ準備ヲナス

七月十四日 新鄭ヨリ駄馬部隊ヲ内山大尉ノ指揮ノ下ニ分進セシメ主力ハ七月十九日開封ニ到着ス爾後同地ニ在リテ轉進ヲ準備ス

七月二十日 一補充員二〇名到着セルヲ以テ各中隊ニ配賦ス

七月二十日 一大隊ハ開封ニ於テ石師參編第十五號ニ基テ入院中ノ
患者ヲ夫々独立混成第七旅團司令部ニ轉屬セシムルト
共ニ編成過剩人員ノ整理ニ任ズ

七月二十日 一昭和十九年度兵科少尉候補者ノ術科試験ヲ實施ス

七月二十四日 一別紙ノ通り第十三軍司令官ヨリ感狀ヲ授與セラル

七月二十六日 一内山大尉指揮ノ下ニ新鄭ヨリ分進行動中ノ歩兵砲中
隊並ニ行李ハ七時開封ニ到着セルヲ以テ趙化ニ露營セ
シメ爾後ノ準備ヲ命ズ

七月二十七日 一部隊長ハ十時各隊長ヲ集メ部隊ノ爾後ノ行動編成改
変ニ関スル指示ヲ與ヘ速ニ編成完結ヲ速進ス

七月二十九日 一十二時十五分敵機五機開封上空ニ飛來シ開封站附近ヲ
爆撃東方ニ遁走セリ部隊ハ至嚴ナル警戒裡待機ス
一石門ニ殘置セシ兵器資材梱包等到着ス

感 狀

陸軍軍曹 宮垣悦次郎

20. 30. 沖後

陸軍軍曹 宮垣悦次郎

右ハ今次京漢作戰ノ緒戦タル霸王城ノ堅陣突破ニ於テ下士官
弁候トシテ將又決死隊長トシテ屢々偉功ヲ樹テタリ
乃チ四月十四日師團が黃河南岸ニ進出シ堅固ナル霸王城敵陣地ニ對
シ攻撃準備ヲ開始スルヤ宮垣軍曹ノ屬スル第一中隊ハ師團左翼
隊ノ中第一線タル大隊ノ右第一線トシテ「タラ」及「マス」陣地突破
ノ準備ニ着手ス。當時第一中隊第一小隊連絡撤下士官タリシ軍曹
ハ十五日ヨリ十八日ニ亘リ前後五回下士官弁候長トシテ選抜セラレタラ
陣地前方ノ地形及障碍物ノ状況就中地雷ノ搜索突撃路並ニ後方「
マス」陣地ノ状況等ノ偵察ヲ命ゼラルルヤ其ノ都度綿密周到ナル計畫
ノ下剛膽果敢ニ敵陣ニ潜入シ或ハ「タラ」陣地前方五〇米ニ在ル特火
兵ニハ夜間ノ敵ノ益哨スルヲ偵知シ拂曉其ノ引上げ時機ヲ狙ヒテ敢然

該特火點附近ニ侵入シ陣内ノ敵情地形ヲ搜索シ或ハ晝間敵火ノ下長時間ノ監視ヲ續行シ或ハ敵前ノ地雷ヲ發掘シ而モ此ノ間其ノ適切ナル行動ハ一兵ヲモ損セズ仔細ニ敵情地形ヲ詳カニ大隊及中隊ノ攻撃準備ニ至大ノ貢獻ヲ爲セリ斯クシテ四月十九日至レルガ全般ノ状況ニヨリ同夜敵退却ノ虞大ニシテ大隊長ヨリ威力搜索ヲ命ゼラルルヤ軍曹ハ六度選バレテ決死隊長トナリ選抜ノ兵九名ヲ指揮シエ兵分隊ト協力シテ二十時十分先ツ「陣地左前方五〇米ノ特火點ヲ奪取ス時既ニ該特火點内ノ敵ハ後退シアリシモ「陣地及「陣地」ヨリノ猛射逞シテ決死隊長以下之ヲ冒シ「陣地」第一特火點正面ニ近迫中、中隊長ヨリエ兵ト共ニ鐵條網ノ隱密破壊ヲ命ゼラル軍曹ハ直ケニ部下仙波兵長以下二名ニ命ジ破壊ヲ部署シ自ラ鐵條網前一〇米附近ニ突撃ヲ準備セルガ敵ハ我ガ攻撃ヲ察知シ手榴彈ヲ投ジ輕機関銃及小銃ヲ以テ猛射ス茲ニ於テ強行破壊ニ轉ジエ兵ノ破壊筒ニ依ル破壊虜接シ突撃セ

ルモ鐵條網深クシテ第三線ノ鐵條網ヲ破壊シ得ズ敵ノ火力ハ愈々熾烈ナルモ地形ヲ利用シ再度ノ突撃ヲ準備シエ兵ノ第二回破壊ニ虜虜接シ突撃ヲ再行セルモ第三線鐵條網ノ前面ニハ更ニ縱深深キ鐵條網アリテ前進意ノ如クナラズ此ノ頃「陣地」方面ヨリスル輕機関銃射加ハリ戰場悽愴ノ極ム軍曹ハ沉着克ク部下ヲ掌握シ近ク附近ニ陣地ヲ構築シ更ニ突撃ヲ準備ス次テ遂次鐵條網ヲ踏越シ翌二十日二時頃三度突撃ヲ敢行セルガ突如敵陣地直前ニ幅五米深サ六米ニ及ブ遮断壕アルヲ發見セリ茲ニ於テ軍曹ハ中隊ニ梯子ヲ要求シ四時頃其ノ到着スルヲ待テ突撃ヲ決行セント準備シツツアリシガ中隊ノ攀登路ニ條ヲ構成スベキ命ヲ受ケ勇躍壕内ニ躍込ミ之カ作業ヲ開始セリ此ノ頃敵ニ動搖ノ徵アリ軍曹ハ機ヲ失セズ第一特火點ニ突入四時五十分之ヲ奪取シ引續キ手榴彈ヲ投擲シツツ「陣地」方向ニ後退スル敵ヲ尾シテ追撃ヲ開始セリ軍曹ハ沉着剛膽克ク至

難ナル状況下ニ於テ適時屢々中隊長ノ掌握下ニ入り機宜ニ適スル行
動ヲ以テ敵ノ動靜ヲ明カニシ其ノ退却ヲ看破スルヤ直ニ之ニ乘セル
ハ大隊ノ追撃發起ヲ容易ナラシメタルノミナラス師團ガ機ヲ失セズ
追撃ヲ開始シタル一動機トナレリ
右ノ行動ハ固ヨリ大隊長及中隊長ノ適切ナル部署及指導ノ下ニ爲
サレタルモノナリト雖モ官垣軍曹ノ沈着剛膽ニシテ而モ慧敏熱心旺
盛ナル責任觀念ノ發露ニシテ克ク歩兵ノ本領ヲ發揮セルモノト謂
フベク其ノ武功眞ニ拔群ニシテ衆ノ範トスルニ足ル

昭和十九年七月二十四日

第十二軍司令官 正四位 勳三等 陸軍中將 内山英太郎

附圖其ノ一